



今月のかけ橋！！

手話でつなげる 「伝えたい」の輪

①
②

苦小牧手話の会は、耳の聞こえない方を含めて46名で活動しています。技術向上のための学習会や、市民向けの手話講習会などの普及活動を行っています。

手話は、手さばきだけではなく、表情など全身を使って思いを表現します。そんな手話のコツを、会の代表の田村さんは「技術だけではなく、相手に伝えたいという気持ち



①手話の学習会風景 ②談笑する代表の田村さん(左)と、会のお母さんの存在の秦野さん(右)

が大切です」と教えてくれました。設立時から会を支えてきた秦野さんは「昔と比べて今では少しずつ手話への理解が広まり、暮らしやすくなりました。これからも手話でおりしゃべりができる仲間をたくさん増やしていきたいです」と、ほほ笑みながら話してくれました。

取材当日の学習会では、手話に真剣に取り組む中にも、笑顔を絶やさない皆さんの姿がありました。田村さんは「会員一人ひとりがろうあ者と聞こえる方のかけ橋となり、コミュニケーションの輪が広がっていくような活動を今後もしていきたいですね」と、手話を広めたいという思いを語ってくれました。

苦小牧手話の会

代表 田村 直美 さん
連絡先 76-9355 (事務局)
toma.shuwa@gmail.com

みんなの



Let's try♪ 今すぐできるかんたん手話



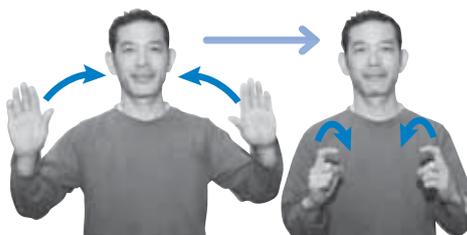
おはよう
朝起きて枕をはなす動作をあらわします。

沼田 和哉さん



こんにちは
人と人が向かいあって、おじぎをする様子です。

小松 希さん



こんばんは
左右の手のひらを顔の前で交差させます。「夜」をあらわします。

酒井 幹雄さん